

J Aバンク宮城における 地域密着型金融の 取組状況（2018年度）

2019年12月

J Aバンク宮城

はじめに

- ✓ J Aバンク宮城では、農業と地域社会に貢献するため、2016年～2018年度 J Aバンク宮城中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。
- ✓ 2018年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1.地域活性化支援

農業融資商品の
提供

担い手のニーズ
対応

2.経営のライフステージに応じた支援

次世代農業者
育成支援

農業法人との
ネットワーク拡大

被災者等への支援

経営改善支援

3.担い手に適した資金供給手法の徹底

資本供与の取組み

負債整理資金による経
営支援

4.持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

復興支援

食・農への
理解促進

目次

1. 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援
 - (1) 農業融資商品の適切な提供・開発
 - (2) 担い手のニーズに応えるための取組み
2. 担い手の経営のライフステージに応じた支援
 - (1) 次世代農業者の育成支援
 - (2) 農業法人とのネットワーク拡大
 - (3) 経営不振農家の経営改善支援
3. 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底
 - (1) 資本供与の仕組み（ファンドの活用）
 - (2) 負債整理資金による経営支援
4. 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献
 - (1) 東日本大震災の復旧・復興支援
 - (2) 食・農への理解促進

1.農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

- ▶ J Aバンク宮城は、地域における農業者との結びつきを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

1.地域活性化支援

農業融資商品の
提供

担い手のニーズ
対応

2.経営のライフステージに応じた支援

次世代農業者
育成支援

農業法人との
ネットワーク拡大

被災者等への支援

経営改善支援

3.担い手に適した資金供給手法の徹底

資本供与の取組み

負債整理資金による経
営支援

4.持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

復興支援

食・農への
理解促進

4 (1) 農業融資商品の適切な提供・開発

- ✓ J Aバンク宮城は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

プロパー農業資金

【農業関係資金残高】

485.4億円

※農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金が含まれています。

【日本政策金融公庫等

受託貸付金残高】

29.6億円

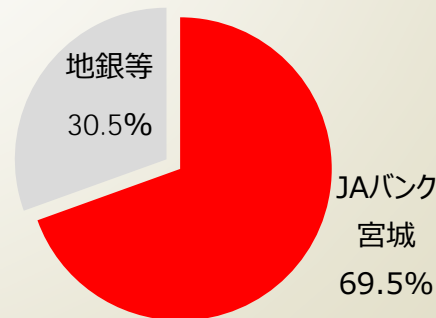
※ J Aバンク宮城が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫の貸付金の受託取扱いを行っています。

制度資金

- ①「農業近代化資金」
- ②「日本政策金融公庫資金」
(公庫直貸除く)

取扱シェア宮城県トップ

【宮城県の農業近代化資金取扱シェア】



(2018年12月末時点) 出所：宮城県

営農類型		2019年3月末
農業	穀作	6,956
	野菜・園芸	1,118
	果樹・樹園農業	109
	工芸作物	25
	養豚・肉牛・酪農	4,405
	養鶏・鶏卵	68
	養蚕	0
	その他農業（注1）	15,723
農業合計		28,404
農業関連団体等（注2）		20,135
合計		48,538

（注1）「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられていない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

（注2）「農業関連団体等」には、JAや全農およびその子会社等が含まれています。

【資金種別別農業資金残高】 単位：百万円

種類		2019年3月末
プロパー農業資金（注3）		43,940
制度資金	農業近代化資金	3,774
	その他制度資金（注4）	825
	制度資金合計（注5）	4,599
合計		48,538

【農業資金の受託貸付金残高】 単位：百万円

種類	2019年3月末
日本政策金融公庫資金（注6）	2,956
その他	0
合計	2,956

（注3）プロパー農業資金とは、JAバンク宮城原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

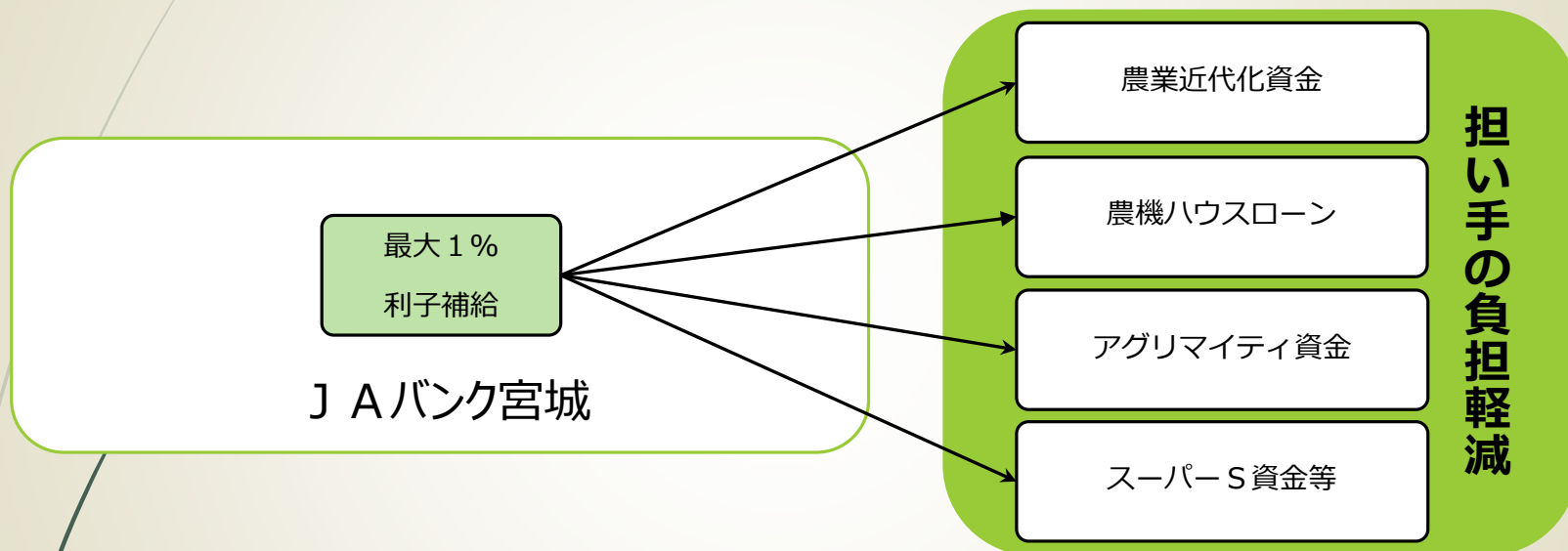
（注4）その他制度資金には、農業経営改善促進資金（スーパーS資金）や、農業経営負担軽減支援資金等が該当します。

（注5）農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンク宮城が低金利で融資するもの、③日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここでは①の転貸資金と②を対象としています。

（注6）JAバンク宮城では、主にはJAを窓口として日本政策金融公庫資金等の受託貸付金を取り扱っています。

6 【農業融資への利子補給の実施】

- ✓ J Aバンク宮城は、農業振興等に貢献するため、農業融資を対象に最大1%の利子補給を行い、農業の担い手をサポートしています。



【2018年度 農業融資への利子補給】

2018年度 利子補給実績
2,549件/47,845千円

(2) 担い手のニーズに応えるための取組み

- ✓ J Aバンク宮城では、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っています。
- ✓ 農林中央金庫仙台支店では、J Aのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「**県域農業金融センター**」を構築し、下記の取組み等の機能拡充、強化に努めています。

担い手金融リーダーの設置

- J Aでは、本支店の農業融資担当者が営農・経済部門と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応を実施しています。
- それを支える体制として、豊富な農業金融知識を持った農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を配置しています。
- 2019年3月末時点では、14JA（合併により、2019年11月現在は10JA）全体で33名配置しています。

J Aバンク農業金融プランナーの設置

- J A系統独自の農業融資資格制度「J Aバンク農業金融プランナー」を導入しています。
- 農業融資の実務に則した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化、専門家する農業者の金融ニーズに応えていきます。
- 2019年3月末時点では、14JA（合併により、2019年11月現在は10JA）全体で137名が資格を保有しています。

担い手サポートセンターの運営

- J A宮城中央会、全農みやぎ、農林中央金庫仙台支店の共同で、担い手への出向く体制の強化を目指し、2018年度末まで担い手サポートセンターを構築していました。
- 担い手に対し、事業部門を横断した総合的なサポートに取り組みました。
- なお、担い手サポートセンターは、2019年7月1日より県域営農支援センターに名称変更し、活動を続けています。

J A内事業間連携の強化

- 農業者の多様なニーズにJ Aをあげて応えていくため、信用部門と営農・経済部門との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上にJ A内事業間連携を強化しています。

農業メインバンクC S調査の実施と結果の活用

- J Aバンクでは、J Aの農業融資に対する率直なご意見・ご感想をお伺いすることを目的として、お客様の満足度をお聞かせいただいています（農業メインバンクC S調査）。
- 調査結果を活用しながら、農業者の声により応えることができるよう、農業メインバンク機能の一層の強化に取り組んでいます。

【具体的取組事例】 – 担い手のニーズに応えるための取組み

J Aグループ宮城 営農と信用の連携研修会（担い手金融リーダー会議）の開催		
1. 経緯	J Aバンク宮城では、県下全14 J Aの担い手金融リーダーおよびJ A 営農部門職員を対象に、担い手対応にかかる事業間連携の強化に向けて研修会を実施しました。	
2. 概要	日時/場所	(第1回) 2018年9月13日 (木) (第2回) 2019年3月20日 (水)
	参加人数	各回 計50名前後 (県下 J A、J A 宮城中央会、全農みやぎ、宮城県農業信用基金協会、農林中央金庫仙台支店)
3. 成果	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 次世代の担い手や農業法人コンサルタントを招き、「これからの宮城の農業」をテーマにパネルディスカッションを実施し、農業の未来についての意見交換を行いました。 ✓ 関連会社であるJA三井リース株式会社を招き、農業者向けリース事業の情報提供を行うなど、農業者への多様なソリューション提供に向けて取り組みました。 	

2.担い手の経営のライフステージに応じた支援

- ▶ J Aバンク宮城は、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

1.地域活性化支援

農業融資商品の
提供

担い手のニーズ
対応

2.経営のライフステージに応じた支援

次世代農業者
育成支援

農業法人との
ネットワーク拡大

被災者等への支援

経営改善支援

3.担い手に適した資金供給手法の徹底

資本供与の取組み

負債整理資金による経
営支援

4.持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

復興支援

食・農への
理解促進

(1) 次世代農業者の育成支援

- ✓ J Aバンク宮城では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金等を取り扱っています。

制度資金

- J Aバンク宮城では日本政策金融公庫の青年等就農資金の取扱いを行っております。2018年度末時点における同資金の取扱残高は460百万円です。

新規就農応援事業

- J Aバンクアグリサポート事業の一環として、新規就農応援事業を創設し、独立新規就農者および新規就農希望者（研修生）の育成を行う農家等（研修受入先）に対して、費用助成を行いました。
- 2018年度は、研修生に対する就農支援事業75件の取り組みに対し1,500万円、研修受入先に対する研修支援事業12件の取り組みに対し、312万円の助成金を交付しました。

【具体的取組事例】 一次世代農業者の育成支援

J Aグループ宮城 担い手営農支援ビッグフェア 2018 in 宮城 J Aグループ宮城 担い手営農支援フェスタ 2018 in 宮城	
1. 経緯	J Aグループ宮城は、農機メーカーと連携して開催した農機大展示会において、担い手に対して営農活動に資する情報やコスト低減対策等を提案するブースを設け、担い手の営農を支援しました。JAバンク宮城は本イベントを共催し、資金相談の受付・アンケートの実施・チラシ配布等を通じてJAバンクの活動周知・知名度の向上に努めました。
2. 概要	日時/場所 (ビッグフェア) 2018年6月14日、15日 グランディ・21 (フェスタ) 2018年11月16日、17日 夢メッセみやぎ
	参加人数 (ビッグフェア) 2,408名 (フェスタ) 2,256名
3. 成果	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2回の出展でそれぞれ農業資金ニーズ、事業承継・法人化にかかるアンケートをそれぞれ実施し、農業者の利用意向調査を行いました。得られた結果を分析し、JAバンク宮城としての農業者支援のための取組推進に活かしております。 ✓ 来場者にJ Aバンクグッズを進呈し、J Aグループの取組みを紹介しました。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】 - 次世代農業者の育成支援

単位 件、百万円

	2018年度 実行件数	2018年度 実行金額	2018年度未 残高
青年等就農資金	25	203	460
J A新規就農応援資金	-	-	-
合計	25	203	460

(2) 農業法人とのネットワーク拡大

- ✓ **J Aバンク宮城では、宮城県農業法人協会・全農宮城県本部と三者間連携協定を締結し、農業法人とのネットワーク拡大、関係強化に取り組んでいます。**

農業法人会の設立

- 県下 J Aにおいて、管内の農業法人により構成される協議会を立ち上げ、農業法人の設備投資や経営の効率化、農畜産物の付加価値向上等、法人が抱える諸課題の解決を支援するための取り組みを行っています。

農業法人協会との連携

- 農林中央金庫は、公益社団法人日本農業法人協会と包括的なパートナーシップ協定を締結しています。
- 農林中央金庫仙台支店は、平成28年度に宮城県農業法人協会、全農宮城県本部と三者間連携協定を締結し、ネットワークの拡大、関係強化に取り組んでいます。

宮城県農業会議への参画

- 農林中央金庫仙台支店は、平成27年度に宮城県農業会議の会員に加入しました。
- 担い手の経営支援、新規就農支援、農地転用にかかる許可等の事業に参画し、J Aグループの事業との連携や情報交換に取り組んでいます。

(3) 経営不振農家の経営改善支援

- ✓ **J Aバンク宮城では、負債整理資金の対応にあたり再生計画の策定支援や、経営指導など、農業者の経営改善支援に取り組んでいます。**

【農業者の経営改善支援取組実績】

区分	経営改善 支援取組先 (注1) a	aのうち再生 計画策定先 b	aのうちランクアップ 先 (注2) C	aのうち債務者区 分不変先 (注3) D	事業計画策定率 b/a	ランクアップ率c/a
正常先	0	0	-	0	-	-
要注意先	2	1	0	2	50.0%	0.0%
うち要管理先	1	0	0	1	0.0%	0.0%
破綻懸念先	7	3	0	7	42.9%	0.0%
実質破綻先	6	2	0	6	33.4%	0.0%
破綻先	0	0	0	0	-	-
合計	16	6	0	16	37.5%	0.0%

(注1) 経営改善支援取組先は、J A・農林中央金庫仙台支店が再生計画の策定等、経営改善支援に取り組んだ先として指定したものをいいます。

(注2) ランクアップ先とは、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先をいいます。

(注3) 債務者区分不変先とは、当期末の債務者区分が期初と変化しなかった先をいいます。

3.経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底

- J Aバンク宮城では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

1.地域活性化支援

農業融資商品の
提供

担い手のニーズ
対応

2.経営のライフステージに応じた支援

次世代農業者
育成支援

農業法人との
ネットワーク拡大

被災者等への支援

経営改善支援

3.担い手に適した資金供給手法の徹底

資本供与の取組み

負債整理資金による経
営支援

4.持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

復興支援

食・農への
理解促進

(1) 資本供与の取組み（ファンドの活用）

- ✓ J Aバンク宮城では、農業振興や環境に貢献する取組みを行う企業に投資し、その成長を応援しています。
- ✓ 上記の投資を行う「アグリビジネス投資育成株式会社」は、農業法人投資育成制度にかかる業務を行うため、J Aグループと日本政策金融公庫の出資により設立された法人です。
- ✓ 農業法人への出資等を通じて、その健全な成長発展を図り、もって農業の持続的な発展に寄与することを目的としています。

【農業者の経営改善支援取組状況】

(単位 件数:件 金額:百万円)

ファンド名	2016年度実績		2017年度実績		2018年度実績		累計実績(注1)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
アグリシードファンド	-	-	-	-	-	-	3	24
復興ファンド(注2)	3	44	1	20	-	-	26	409

(注1) ファンド創設からの累計実績を記載しております。

(注2) 復興ファンドの対象は、東日本大震災の被災企業を対象とします。

(2) 負債整理資金による経営支援

- ✓ **J Aバンク宮城では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。**

【農業者の経営改善支援取組状況】

資金名	2019年3月末残高（百万円）
農業経営者負担軽減支援資金（注1）	42
畜産特別資金（注2）	129
負債整理資金	231
合計	402

（注1）農業経営者負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J A等の融資機関において取り扱っています。

（注2）畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換え資金であり、J A等の融資機関において取り扱っています。

4. 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

- ▶ J Aバンク宮城は、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

1. 地域活性化支援

農業融資商品の
提供

担い手のニーズ
対応

2. 経営のライフステージに応じた支援

次世代農業者
育成支援

農業法人との
ネットワーク拡大

被災者等への支援

経営改善支援

3. 担い手に適した資金供給手法の徹底

資本供与の取組み

負債整理資金による経
営支援

4. 持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

復興支援

食・農への
理解促進

(1) 東日本大震災の復旧・復興支援

- ✓ **J Aバンク宮城では、東日本大震災等、全国各地での災害等の被災者を支援するため、災害対策窓口を設置しているほか、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じた償還条件の緩和等に対応しました。**

東日本大震災特別対策利子補給

- 県下 J Aにおいては、東日本大震災で被害を受けた農業者の復旧・復興に向けて、県の災害資金のほかに低金利の J A 独自災害資金を創設しています。
- これらの県災害資金と J A 独自災害資金に対し、J Aバンク宮城では被災農業者の負担を軽減するために利子助成を行っております。

復興支援プログラム

- 2018 年度まで、2011年4月に創設した「復興支援プログラム」に基づき、被災された農林漁業者への金融・経営支援に加え、生産資材購入資金の一部助成・寄贈などを行いました。
- 農林漁業者を多面的に支援しております。

21 (2) 食・農への理解促進

- ✓ J Aバンク宮城は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れに取り組んでいます。
- ✓ 教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、2018年度には県下の小学校へ計約23,100冊、特別支援学校へ計260冊配布され、学校の授業において活用されています。

教材「農業とわたしたちの暮らし」配布

- 教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンク宮城を通じて、県内の多くの小学生へ配布され、学校の授業等において活用されています。

農業体験学習

- 県下 J A では、食農教育等の実践活動に取り組んでいます。
- 農林中央金庫仙台支店は、これらの活動費用の一部を助成し、J A による食農教育や地域貢献の取組みを支援しました。
- 2018年度は、県内20件の取組みに対して、260万円の助成金を交付しました。